

西アフリカ・シエラレオネで拡大するエボラ出血熱への救援を！防護服 100 着分 30 万円のカンパを！

東大阪国際交流フェスティバルにご参加のみなさん。いま西アフリカで猛威を振るうエボラ出血熱は WHO(世界保健機関)が「非常事態」を宣言するなかで、4877 人が死亡し感染者は 1 万人に迫ろうとしています (10/22 現在)。



お母さんをエボラで亡くした兄弟(ユニセフ HP から) シエラレオネの病院で任務中の保健員(ユニセフ HP から)

(地域からエボラ出血熱への取り組みを進めよう！)

私たちメッド・ロマシィさんの友人の会と NPO 法人東大阪国際共生ネットワークは、西アフリカで猛威を振るうエボラ出血熱対策を支援するためのキャンペーンや支援カンパを地域から取り組んでいます。それは第 1 回目のフェスティバルからアフリカダンスやキヤラメルキッズのパフォーマンスを率いて参加するメッド・ロマシィさんがシエラレオネ出身であり、彼のお母さんやご家族が祖国で不安の日々を送っておられるからです。

地域の仲間であるメッド・ロマシィさんの心配を私たちが受け止め、西アフリカで猛威を振るうエボラ出血熱の拡大を少しでも抑えるためカンパ活動への協力をお願いいたします。カンパは医療用の防護服にあてることにしています。

(医療用防護服のための支援カンパに協力を！)

《カンパの目標》防護服 100 着分 (1 着 3000 円) に相当する 30 万円を目標

《カンパの提供方法》シエラレオネの首都フリータウンにある医療機関への寄贈または
国境なき医師団への寄贈を予定

《郵便振替口座への振込》

郵便振替口座番号：[0970-7-241565](tel:0970-7-241565)

加入者名：東大阪国際共生ネットワーク 必ず「[エボラ出血熱救援募金](#)」と明記

《呼びかけ団体・問い合わせ先》

電話：06-6721-6670、メールアドレス：kokusaiks@e-sora.net

メッド・ロマシィさんの友人の会・NPO 法人東大阪国際共生ネットワーク

※11 月 3 日東大阪国際交流フェスティバルの様子が“[YouTube](#)”に!!

「エボラ出血熱対策 母国に支援を！」<http://www.youtube.com/watch?v=Rxvy6DDRRs>

エボラ出血熱

どんな病気？

エボラウイルスによる感染症。致死率は最高で90%程度。発熱、頭痛、筋肉痛、頭痛などに始まり、症状が進むと、おう吐、下痢、発疹の症状がみられる。吐血、歯肉からの出血、消化管からの出血など、ひどい出血症状がでれば、死に至る可能性も高くなる。

治療法は？

現時点では、特定の治療方法が確立されておらず、対症療法のみ。そのため感染経路や予防方法、感染したときの症状、医療サポートに関する情報を広く伝えることで、エボラ出血熱の感染拡大を阻止することが極めて重要。

感染経路や予防法は？

発症した感染者の体液（血液、吐しゃ物、排泄物、唾液、汗など）との接触や、エボラウイルスに感染した動物との接触や捕食によって感染が広がる。空気感染はしない。予防には、十分な手洗いを実践し、流行地では感染者の体液などに触れないようにすることが重要。早期の診断と感染者の隔離、感染者との接触した人の状況確認、加えて、厳格な感染コントロールを実施することで、感染拡大を防ぎ、エボラウイルスの封じ込めが可能。



(ユニセフ・WHOのHPから作成)



(支援を予定している防護服のイメージ)